

太陽光のエネルギーを活用しよう



災害時も強い
再生可能エネルギー
を活用しよう

地球温暖化とは、大気中の二酸化炭素などの温室効果ガスが赤外線の一部を吸収することで、大気や海洋の平均気温が長期的に上昇する現象のことです。近年、集中豪雨や大型化した強い台風などによる災害が頻繁に発生しており、地球温暖化が原因と考えられています。

そこで、地球温暖化対策として注目を集めているのが、自然の力を生かし、環境への負荷が少ない再生可能エネルギーです。「太陽光」「風力」「水力」などのエネルギーを使い、温室

地球温暖化対策として二酸化炭素の排出を削減するため、本市では、「太陽光発電」の普及を進めています。今回は、家庭での太陽光活用に関する補助金などを紹介します。皆さんも、自然エネルギーを使ったエコな生活を始めてみませんか。

効果ガスを発生させずに、電気や熱などを作り出すことができます。

本市は、年間の日照時間と日照量が豊富で、全国的にみても「太陽光」の活用が有利な地域です。

家庭に備えた太陽光発電などの発電設備と蓄電池を組み合わせることで、発電所からの電気の供給が途絶

停電しても
電気が使えます



えても、日中だけでなく夜間でも、家庭で電気を使用することができます。

家庭向け 低炭素化普及促進補助金

家庭から排出される二酸化炭素を減らし低炭素化を進めるため、これまでの太陽光発電システムに加え、これと連携した電気自動車や蓄電池などに対する新たな補助を開始します。

▽受付開始日 6月7日(火)

▽補助対象機器・金額・件数 下の表の通り。
▽対象 次の全てに該当する人。①自ら居住する住宅に機器を設置する②市内に住民登録がある③市税を滞納していないなど。

家庭向け低炭素化普及促進補助金

補助対象機器	補助金額	補助件数(予定)
1 太陽光発電システム	1キロワット当たり1万円。上限8万円	1,000件
2 定置型蓄電池	補助対象経費の10パーセント。上限30万円	220件
3 蓄電池を備えた自動車	補助対象経費の10パーセント。上限30万円	
4 太陽光EV連携機器	補助対象経費の10パーセント。上限10万円	100件
5 燃料電池(エネファーム)	補助対象経費の10パーセント。上限10万円	

※2~4は、いずれか1つのみ申請可。

▽その他 詳しくは、市庁舎を閲覧になるか、環境政策課 ☎(632)2408へお問い合わせください。

エコの環に加わろう みやCO2バイバイ プロジェクト

このプロジェクトは、太陽光発電の設置による二酸化炭素排出の削減や、事業所がクレジット(※1)を使用したカーボンオフセット(※2)を行うなど、市民の皆さんや事業所の皆さんによるさまざまな環境活動をつなげ、「エコの環」をつくるプロジェクトです。

現在、住宅に太陽光発電を設置した市民の皆さん約300人が参加し、今年3月には139トンのクレジットをつくることができました。クレジットは、二酸化炭素を排出しない事業活動に活用でき、その収益は学生団体による環境活動の支援に使われます。本市では、住宅に太陽光発電を設置している市民の皆さんのプロジェクトへの参加や、クレジットを購入する事業所の皆さんを募集しています。詳しくは、環境政策課 ☎(632)2403へお問い合わせください。

※1クレジット 太陽光や風力・水力といった再生可能エネルギーの使用や、エネルギー効率の良い機器の導入、植林や間伐などの森林管理などにより、二酸化炭素などの温室効果ガスを削減・吸収した量のうち、市場での取引の対象となったもの。 ※2カーボンオフセット 経済活動などにおいて、まずできるだけ温室効果ガスの排出量を削減し、それでも排出されてしまう量を他者による温室効果ガスの削減活動への投資で埋め合わせるという考え方。

本文中に記載がないものは、原則として、対象どなたでも、費用無料、申込不要。 ☎ホームページ、 ☑地域コミュニケーションセンター、 ☑市民活動センター、 ☑地区市民センター、 ☑出張所、 ☑生涯学習センター、 ☑生涯学習センター、 ☑地域コミュニケーションセンター、 ☑市民活動センター